

基礎看護学

《著書》

1. 岡崎美智子：序章：在宅看護の考え方 . 岡崎美智子, 小田正枝編著：看護技術実習ガイド在宅看護技術. その手順と教育支援(第2版). メヂカルフレンド社. 東京, 2-14, 2003
2. 岡崎美智子：第1章在宅看護の基本技術(観察). 岡崎美智子, 小田正枝編著：看護技術実習ガイド2 在宅看護技術. その手順と教育支援(第2版). メヂカルフレンド社. 東京, 46-55, 2003
3. 岡崎美智子：第2章日常生活援助技術(食事). 岡崎美智子, 小田正枝編著：看護技術実習ガイド2 在宅看護技術. その手順と教育支援(第2版). メヂカルフレンド社. 東京, 117-149, 2003
4. 岡崎美智子：第2章日常生活援助技術(清潔). 岡崎美智子, 小田正枝編著：看護技術実習ガイド2 在宅看護技術. その手順と教育支援(第2版)メヂカルフレンド社. 東京, 169-198, 2003
5. 岡崎美智子：第4章疼痛管理と終末期ケア(疼痛管理). 岡崎美智子, 小田正枝編著：看護技術実習ガイド2 在宅看護技術. その手順と教育支援(第2版)メヂカルフレンド社. 東京 , 467-476, 2003
6. 岡崎美智子・小林幸恵：男性の導尿のしかた, 留置カテーテルの方法と管理法, 和田攻編；第一線のナースと保健師のための実践臨床看護手順ガイド（改定第2版）, 文光堂, 東京, 298-310, 2003
7. 岡崎美智子：介護概論, 岡本栄一監修；社会福祉士国家試験要点解説問題集, ミネルヴァ書房, 京都, 232-246, 2003
8. 岡崎美智子・大池美也子訳, 中野和光監訳, Max van Manen : 教育のトーン, ゆみる出版, 東京, 7-74, 2003

《論文》

1. 岡崎美智子, 二宮由美子, 森美智子, 浦田喜久子：赤十字の継続教育－看護指導者教育の将来を中心にして－. 日本赤十字看護学会誌 3(1):35-48, 2003
2. Shikimi T: Shift in drug-related awareness in students after completing a series of lectures on drugs in nursing curriculum. 日赤医学 55(2/3):377-382, 2004
3. Shikimi T: Sample trial to assess the level of understanding of the mechanisms of drug action. Nursing and Health Sciences 6(3):167-171, 2004
4. 塩飽邦憲、乃木章子、樽井恵美子、下野久美子、北島桂子、山根洋右：批判的思考育成のための概念地図を用いた教育技法の開発. 日本医学看護学教育学会誌 12: 8-12, 2003
5. 山根洋右、塩飽邦憲、北島桂子、樽井恵美子、アヌーラド・エルデンビレグ、エンヘマ・ビャムバー、米山敏美：公衆衛生学におけるコミュニティ基盤教育

- の展開、医学教育 34: 89-95, 2003
6. 山根洋右、塩飽邦憲、北島桂子、樽井恵美子、アヌーラド・エルデンビレグ、エンヘマ・ビャムバー、米山敏美：卒前医学教育の場としての健康福祉のまちづくり．医学教育 34: 177-183, 2003
 7. 塩飽邦憲、岩永俊博、樽井恵美子、下野久美子、北島桂子、山根洋右：概念地図を用いた問題解決能力の教育評価．医学教育 34: 385-390, 2003
 8. 堀口 淳、亀田敦子、野田恭仁子、田中道子、小中綾子、樽井恵美子、小泉素子、篠原 馨、山本勝則：「もの忘れ外来」からみた痴呆のケア、専門分野における痴呆ケアのあり方及び今後の研究課題、日本痴呆ケア学会 2(2), 256-261, 2003
 9. 山根洋右、塩飽邦憲、杉村 巖、林 雅人、丸地信弘、明石秀伸、北島桂子、下野久美子、樽井恵美子：日本の農村における健康なまちづくり戦略と農村医学会の支援活動、日本農村医学会雑誌 52: 135-164, 2003
 10. 山根洋右、塩飽邦憲、北島桂子、下野久美子、樽井恵美子、米山敏美、Erdembileg Anuurad、Byambaa Enkhmaa、明石秀伸：健康なまちづくりの国際的戦略と方法論に関する政策科学的研究、日本農村医学会雑誌 52: 677-700, 2003
 11. 樽井恵美子、森山輝子、板倉千栄：実践に生きる看護理論のつかいかた、オレム理論を用いて、SEIKEI-GEKA KANGO 8(8), 72-77, 2003
 12. 長田京子、魚谷節子、仲下真紀子：実践に生きる看護理論のつかいかた、疼痛と肥満のため手術後の離床がすすまない高齢患者さんの事例．整形外科看護, 8 (7) : 59-63, 2003
 13. 津本優子、魚谷節子、坂田直美：実践に生きる看護理論のつかいかた - オレム理論を用いて - コミュニケーション障害があり、術後の安静を維持することが難しかった急性期の患者さんの事例．整形外科看護, 8(10) : 933-940, 2003
 14. 津本優子、中島里美、藤江さとみ：実践に生きる看護理論のつかいかた - オレム理論を用いて - 感情表出が少なく精神面の援助が難しかった青年期の患者さんの事例．整形外科看護, 8 (12) : 1129-1136, 2003
 15. 小西孝子、古賀美紀、小林幸恵：倦怠感のあるがん患者に与えるアロママッサージの効果、日本看護福祉学会誌, 9(1), 43-44, 2003.
 16. 古賀美紀、松井美幸、伊藤靖子：実践に生きる看護理論のつかいかたVol. 6 下肢の運動機能障害があり、夜間になると身体各部の痛みと不眠を訴える回復期患者さんの事例, SEIKEI-GEKA KANGO, 第8巻, 6号, 557-565, 2003.
 17. 古賀美紀、池田公子、森山輝子：実践に生きる看護理論のつかいかた ヘンダーソンの理論を用いて 右膝関節の可動域制限があり、一時退院を受け入れることができない患者さんの事例Vol.11, SEIKEI-GEKA KANGO, 第8巻11号, 64-69, 2003.
 18. 山根洋右、塩飽邦憲、北島桂子、下野久美子、樽井恵美子、Erdembileg Anuurad、Byambaa Enkhmaa、米山敏美：「新しい公衆衛生」におけるコア概念と地域基盤型公衆衛生学教育の意義 医学教育 35: 47-52, 2004
 19. 森脇純子、長田京子：看護学生－患者関係における信頼の形成要因．日本医学

看護学教育学会誌 13:3-7, 2004

20. 古賀美紀, 岡崎美智子, 小林幸恵, 小原良江: 療養型病床群における看護師と介護職員が協働してケアを実践する効果, 日本看護福祉学会誌, 9(2), 83-91, 2004.
21. 永島早苗, 真壁法子, 岩倉良子, 渡部ひとみ, 野々村美穂, 古賀美紀: 小豆を使用した温罨法の快適性, 持続性の検討, 日本看護学会論文集 35 回看護総合 133-135, 2004.11
22. 戸田知穂, 佐原淑子: 急性心筋梗塞患者のCCU緊急入院書記における抑えている欲求と看護師に訴える事のできなかった要因, 日本看護学会論文集 (成人看護 I), 34 号, 199-201, 2004
23. 高見美樹, 石垣恭子, 古賀美紀, 岡崎美智子, 臼井麻里子, 佐原淑子, 水流聡子, 原由行, 佐々木滋人: 長期療養型病床群における看護観察指示システムの構築, 医療情報学 24 回連合大会論文集, 108-1109, 2004
24. 佐原淑子, 岡崎美智子: CCUにおける急性心筋梗塞患者の危機理論を用いた欲求の分析, 日本看護研究学会中国・四国地方会抄録集, 33, 2004

《学会》

1. 岡崎美智子, 正野逸子, 鷹居樹八子, 臼井由里子: 在宅ケアにおける看護・介護の連携に関する看護職の教育的支援, 第 13 回日本看護学教育学会学術集会, 長野, 122, 2003 年 8 月
2. 徳永なつ, 樽井恵美子: ターミナル期における看護介入としてのユーモア, 第 13 回日本医学看護学教育学会, 出雲, 2003
3. 三宅満理子, 樽井恵美子: 出雲市・斐川町の屋敷墓文化における死生観の調査, 第 13 回日本医学看護学教育学会, 出雲, 2003
4. 増田いう子, 樽井恵美子: 看護学生の看護職志望強度と看護職アイデンティティへの影響因子, 第 13 回日本医学看護学教育学会, 出雲, 2003
5. 金谷恵里子, 樽井恵美子: レイニンガーのサンライズモデルによる出雲の地域性とその看護, 第 13 回日本医学看護学教育学会, 出雲, 2003
6. 下野久美子, 塩飽邦憲, 乃木章子, 樽井恵美子, 北島桂子, 山根洋右批判的思考育成のための概念地図を用いた教育技法の開発, 第 13 回日本医学看護学教育学会, 出雲, 2003
7. 森脇純子, 長田京子: 患者－看護学生間の信頼関係形成の要因とは, 第 13 回日本医学看護学教育学会学術学会, 出雲, 2003 年 2 月
8. 芳野奈津子, 長田京子: 看護学生の死生観に影響する因子 一学年, 死別体験, 神(仏)の信心による比較一, 第 13 回日本医学看護学教育学会学術学会, 出雲, 2003 年 2 月
9. 津本優子, 津本周作, 里村洋一: 電子的に蓄積された退院時要約による大学病院の特性解析, 第 23 回医療情報学連合大会, 千葉, 2003 年 11 月
10. 津本周作, 津本優子, 安田晃, 里村洋一: 電子的に蓄積された退院時要約についての多変量解析, 第 23 回医療情報学連合大会, 千葉, 2003 年 11 月

11. 北川かほる, 前田隆子, 古賀美紀: 絵本の読み聞かせに対する反応-植物状態の事例から -, 日本看護福祉学会誌, 8(2), P21 - 26, 2003.
12. 古賀美紀, 岡崎美智子, 北川かほる, 佐々木くみ子: 疲労に与える足浴の心理・生理学的効果 疲労感スコアと筋電図を用いて, 日本看護研究学会雑誌, 26(3)131, 2003.
13. 古賀美紀, 岡崎美智子: 看護過程に基づく看護・介護支援システムを導入した療養型病床群のケア記録の実状, 第 9 回日本看護診断学会学術大会, 福岡, 8 (2) 105-106, 2003
14. 今岡英里, 樽井恵美子: 癌患者家族の死別後回復に関連する因子の調査、第 14 回医学看護学教育学会、益田、2004
15. 富高悠、樽井恵美子: 独居痴呆性老人の語りとサポートの関連性、第 14 回日本医学看護学教育学会、益田、2004
16. 花田美香、樽井恵美子: 医系大学生の喫煙行動に関する意識と実態、第 14 回日本医学看護学教育学会、益田、2004
17. 渡辺岸子, 長田京子, 鳴海喜代子, 田口玲子: 患者の心理的負債感とその要因に関する研究. 日本精神保健看護学会第 8 回学術集会. 新潟, 2004 年 6 月
18. S. Tsumoto, Y. Tsumoto, S. Hirano: Application of R to Data Mining in Hospital Information Systems. The First International R User Conference (useR! 2004). Vienna, Austria, May 2004
19. Yuko Tsumoto, Hisae Nakatani, Miki Koga, Michiko Okazaki: Evaluation of experiential learning for junior high school students on the assistance of disabled people. Fifth International Nursing Research Conference , Fukushima, August 2004
20. Yuko Tsumoto and Shusaku Tsumoto: Analysis of Hospital Management Data using Generalized Linear Model, The First International Conference on Complex Medical Engineering-CME2005, Takamatsu , May 2005
21. 大谷小春, 安田聡子, 金井真理子, 橋本裕子, 金平朋恵, 津本優子: 胸腰椎圧迫骨折患者の安楽な食事援助についての検討ー食事台と調理形態の工夫ー, 第 36 回日本看護学会看護総合分科会, 香川, 2005 年 7 月
22. 魚谷節子, 岡崎美智子, 津本優子: 特定機能病院の救急医療現場における看護師の葛藤に関する研究. 第 31 回日本看護研究学会学術集会, 札幌, 2005 年 7 月
23. 高見美樹, 石垣恭子, 古賀美紀, 岡崎美智子, 臼井麻里子, 佐原淑子, 水流聡子, 原由行, 佐々木滋人: 長期療養型病床群における看護観察指示システムの構築, 医療情報学 24 回連合大会論文集, 108-1109, 2004
24. 高見美樹, 石垣恭子, 古賀美紀, 岡崎美智子, 臼井麻里子: 看護実践用語標準マスタの療養型病床群における適用, 医療情報学 24 回連合大会論文集, 924-925, 2004
25. 古賀美紀, 岡崎美智子, 高見美樹, 石垣恭子: 看護支援システムを活用することにより向上する臨床看護実践能力評価項目の検討, 第 24 回日本看護科学学

会学術集会講演集, 162, 2004

26. Yuko Tsumoto, Hisae Nakatani, Miki Koga, Michiko Okazaki: Evaluation of experiential learning for junior high school students on the assistance of disabled people, Japan Academy of Nursing Science Fifth International Nursing Reseach Conference, 96, 2004